

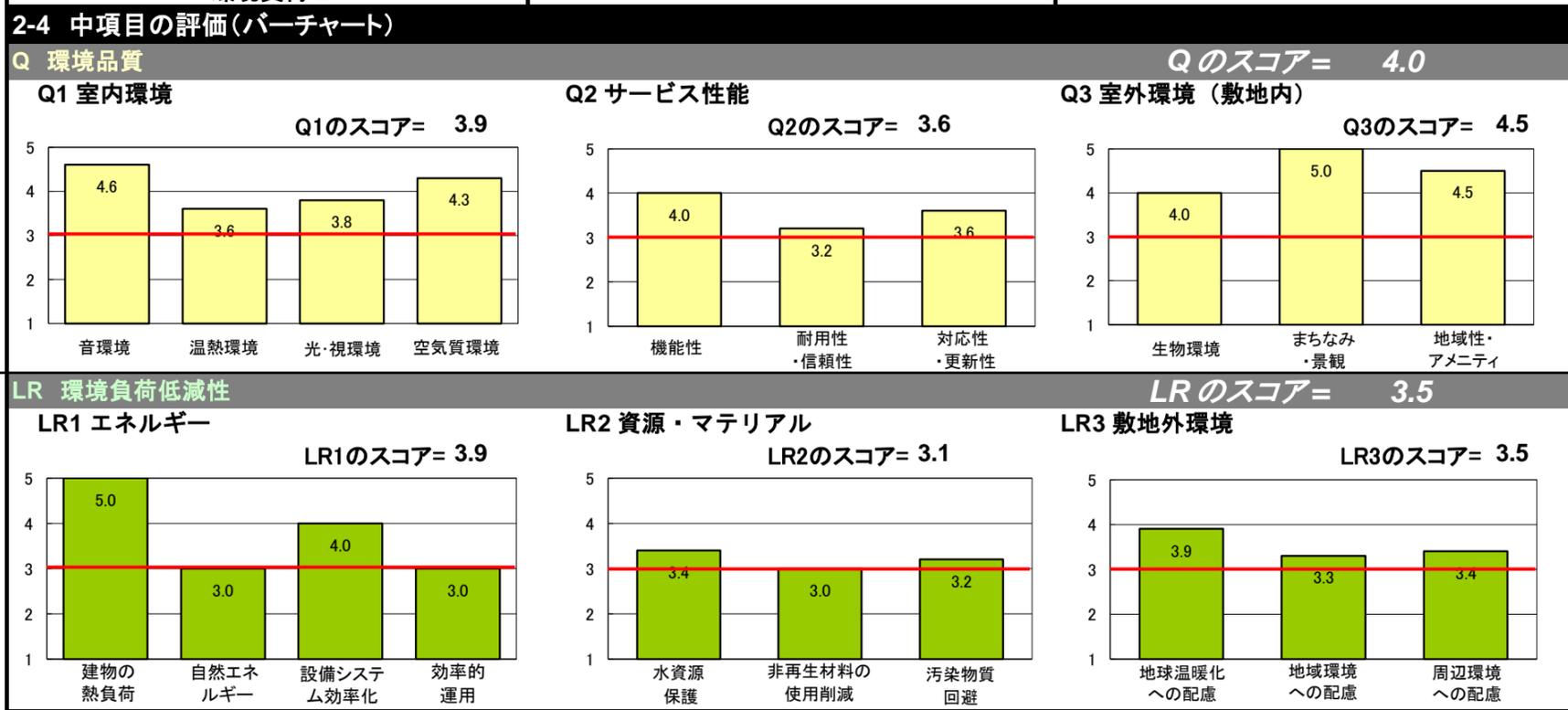
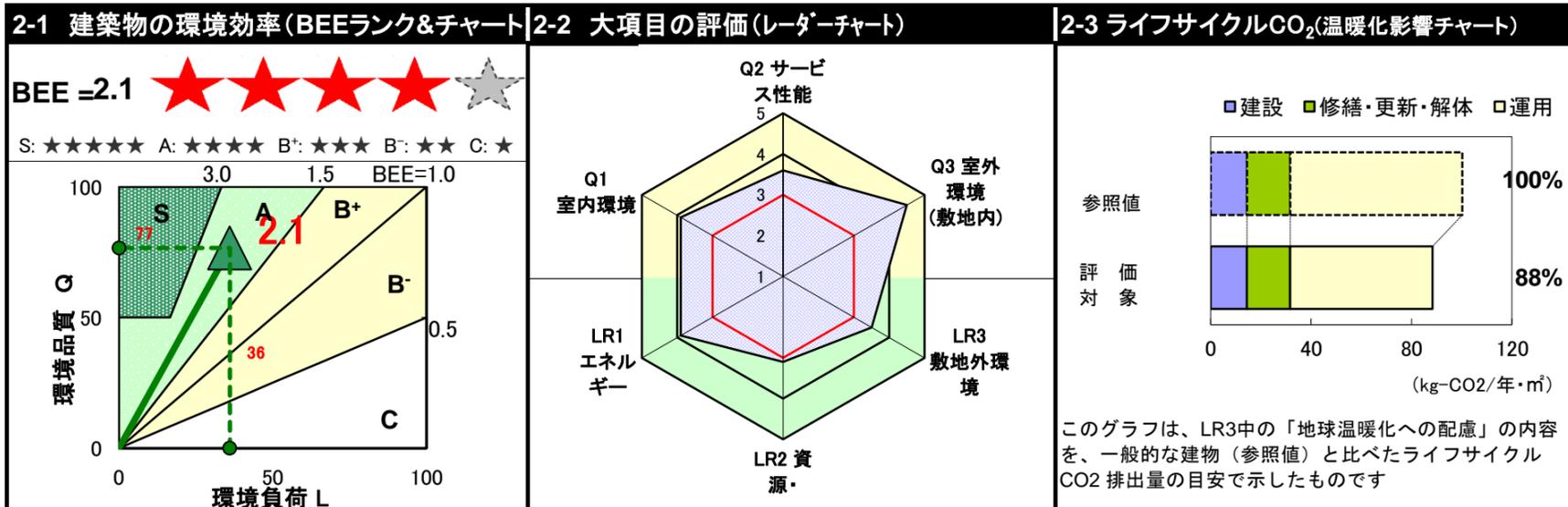
CASBEE®広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版 ■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島学院創立60周年記念事業	階数	地上2F
建設地	広島県広島市西区古江上1丁目-6	構造	SRC造
用途地域	第一種低層住居専用・第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	1,200 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	450 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年2月3日
敷地面積	45,111 m ²	作成者	正木保弘
建築面積	1,719 m ²	確認日	2014年2月3日
延床面積	3,518 m ²	確認者	



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.7

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.6	スコア = 4.0	スコア = 3.5
設計の計画上特段に配慮した事項 ○建物形状の配慮、断熱性能の向上および窓の日射遮蔽を小さくしている // ○高効率機器を採用している // ○節水型衛生器具を採用している // ○床吹き出し空調により省エネを図っている	設計の計画上特段に配慮した事項 ○既存環境の保全・山林造成・伐採低減、既存シンボルトリー残置 ○既存敷地、緑地の保全 // ○適切な駐車場配置	設計の計画上特段に配慮した事項 ○化粧コンクリート打放し+フッ素系塗膜吹付 ○化粧コンクリート打放し ○耐久性のある材料を採用 ○年間利用時間が短い // ○シャフト内配管、天井点検口を多く設置 ○配管内配線としている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される